



前提条件

- [Cisco DNA Spaces : コネクタ の設定の前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco DNA Spaces : コネクタ の前提条件 \(有線\) \(2 ページ\)](#)

Cisco DNA Spaces : コネクタ の設定の前提条件

- 必要なポートが開いていることを確認します。「[オープンポートに関する情報 \(ワイヤレス\)](#)」を参照してください。
- <https://www.cisco.com> および [cisco.com](https://www.cisco.com) ドメインを明示的に許可して、Cisco DNA Spaces : コネクタ がこれらの Web サイトまたはドメインとの接続を確立できるようにします。
- OpenRoaming を展開する必要がある場合は、<https://cisco.openroaming.org> を明示的に許可します。
- 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) v2C および v3 の場合、シスコワイヤレス コントローラ に Cisco DNA Spaces : コネクタ 証明書を登録するための読み取り/書き込み権限が必要です。
- **config cloud-services cmx disable** コマンドを使用して、Cisco DNA Spaces : コネクタ を有効にする前に、シスコワイヤレス コントローラ の Cisco DNA Spaces 接続サービスを無効にします。
- 次のコマンドを実行して、Cisco DNA Spaces : コネクタ を有効にする前に、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の Cisco DNA Spaces 接続サービスを無効にします。
 - **no nmsp cloud-services server url**
 - **no nmsp cloud-services server token**
 - **no nmsp cloud-services enable**
- Cisco DNA Spaces ダッシュボードで設定する コントローラ IP は、Cisco DNA Spaces : コネクタ に到達できる必要があります。

- Cisco DNA Spaces : コネクタ には、ドメインネームシステム (DNS) サーバへのアクセスが必要です。明示的なプロキシを設定する場合、Cisco DNA Spaces : コネクタ はプロキシを使用して通信できる必要があります。
- VMware ESXi 6.5 以降。
- 仮想マシンのサイズ : 標準オプション
- 必要な最小帯域幅 : 4 Mbps (5,000 AP、60,000 クライアント)。



注 キャプティブポータルを使用している場合は、バッファに加えて 30 Mbps 以上の帯域幅を推奨します。この帯域幅により、キャプティブポータルを Cisco DNA Spaces からロードする際のエンドユーザエクスペリエンスが向上します。

Cisco DNA Spaces : コネクタ の前提条件 (有線)

- 必要なポートが開いていることを確認します。「[オープンポート \(有線\)](#)」を参照してください。
- <https://www.cisco.com> および [cisco.com](#) ドメインを明示的に許可して、Cisco DNA Spaces : コネクタ がこれらの Web サイトまたはドメインとの接続を確立できるようにします。
- Cisco DNA Spaces ダッシュボードで設定する Cisco Catalyst 9300/9400 シリーズ スイッチ IP は、Cisco DNA Spaces : コネクタ に到達できる必要があります。
- Cisco DNA Spaces : コネクタ には、許可済みのドメインネームシステム (DNS) サーバが必要です。明示的なプロキシを設定する場合、Cisco DNA Spaces : コネクタ はプロキシを使用して通信できる必要があります。
- VMware ESXi 6.5 以降。
- 仮想マシンのサイズ : 標準オプション
- 必要な最小帯域幅 : 4 Mbps (5,000 AP、60,000 クライアント)。



注 キャプティブポータルを使用している場合は、バッファに加えて 30 Mbps 以上の帯域幅を推奨します。この帯域幅により、キャプティブポータルを Cisco DNA Spaces からロードする際のエンドユーザエクスペリエンスが向上します。
